

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 27 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 48 観光・レクリエーションの振興				
部章節No.	第5部 第3章 第1節	評価担当部	環境経済部	関連部局	建設部
総合計画書掲載頁	171 頁	記載責任者	橋本和明		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	多彩な産業の活力あるまちづくり			
	施策の分類【章】	地域資源を活用した観光の振興			
施策の目的 (基本方針)	自然と歴史に恵まれた町の観光資源を十分活用することにより、首都圏の余暇需要等に対応した観光サービスの充実をはかります。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	首都圏の余暇需要に対応可能な立地条件にあり、緑豊かな自然環境に恵まれた本町には、宮ヶ瀬ダムや県立あいかわ公園、中津川河川敷を中心に、年間120万人を超える行楽客が訪れている。 また、昨今における観光の傾向として、「体験」や「学習」、「交流」を目的とした「ニューツーリズム」が広がりを見せていることから、平成23年度より、町内の企業や観光拠点を周遊する体験型の日帰りバスツアー「あいかわツーリズム事業」を実施しているところである。
法令・制度 の変更	特になし。
施策の課題	今後は、圏央道の開通に伴うアクセス向上を踏まえた広域的な観光客誘致に努めるとともに、町の景勝地や史跡等を取り入れた観光ルートの形成・情報発信を行うなど、インターネット等を活用した積極的なPRに努めていく必要がある。

3 施策の成果指標 (基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。)

住民満足度	指標（単位）		総合計画 策定時	中間値 （26年度）		目標値 28年度		達成度
	『観光・レクリエーションの振興』について「満足」と感じる住民の割合		43.3 %	29.6 %		53.0 %		C
主 な 目標指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	入込観光客数（人）	増	1,425,613	1,273,291	1,153,293	1,278,574	1,496,000	A
	フィルム・コミッション利用件数	増	20	10	9	13	24	C
								—

4 施策の活動指標 (「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。)

主 な 活動指標	指標 (単位)	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	ツーリズム事業の参加者数 (人)	増	72	72	80	81	85	A
								—
								—

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	観光拠点の整備	C	4	観光PRと推進体制の整備	B
2	観光ルートの形成	B			
3	観光産業の育成	B			

6 総合評価

成果指標評価	C	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	C
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価

C
(自動判定)

➡

構成事務事業の統合・廃止の検討を要する施策です。

総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点から踏まえて分析してください。）

県立あいかわ公園の全面開園後、観光客数については、年間120万人を超えるなど、堅調に推移しているが、成果指標として掲げている「フィルム・コミッション利用件数」の伸び悩みが評価を下げる一因になっているとともに、観光情報や特産品（土産品）等のPR不足のほか、物産販売等の拠点となる観光施設がないことなどから、観光客数に見合った経済効果が得られていない。

7 今後の方向性

方向性	☐ 現状維持 ☐ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☒ 新たな取り組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	・ 特産認定制度の創設による特産品の創出と、当該特産品と観光PRの相乗効果により、商業と観光の双方の振興を図る。 ・ 併せて、観光情報の発信や物産販売等の拠点となる観光施設の整備について検討を進めるとともに、新たに県が設置した「神奈川ロケーションサポートデスク」と連携し、「フィルム・コミッション利用件数」の増加に取り組むなど、なお一層の観光客の誘致に努める。

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]